

2016年7月29日

【国文学研究資料館/特定研究】

「日本の近世における中国漢詩文の受容—三体詩・古文真宝の出版を中心に—」

(代表 高橋智慶 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授)

## 公開研究会の御案内

皆さまにはますますご健勝の御こととお慶び申し上げます。

さて、このたびわたくしどもの研究会では、下記の通り、公開研究会を開催します。

ご関心のある方は、どうぞお気軽にご参加下さい。

\*資料準備の都合上、参加される場合は国文研の<sup>かんさく</sup>神作研一までその旨をお知らせ下さい。

★(連絡先) kansaku あつと nijl.ac.jp

### 記

◆日 時：2016年8月31日(水) 13時～18時(予定)

◆場 所：国文研2F第1会議室

◆次 第：

13時～13時05分 挨拶ならびに趣旨説明 神作研一(国文研)

#### 【研究発表】

【1】13時05分～13時50分

合山林太郎(慶應義塾大学)「毛利貞斎『古文真宝後集合解評林』について」

\*ディスカサント 染谷智幸(茨城キリスト教大学)

【2】13時50分～14時35分

福井辰彦(上智大学)「『和訓三体詩』読解の試み」

\*ディスカサント 金田房子(清泉女子大学人文科学研究所客員所員)

(休 憩)

【3】14時45分～15時30分

伊藤善隆(立正大学)「近世前期詩作法書寸見」

\*ディスカサント 青山英正(明星大学)

(休 憩)

#### 【講演】

【1】15時40分～16時40分

大庭卓也(久留米大学)「和刻本『唐詩選』に関する諸問題」

(休 憩)

【2】16時50分～17時50分

堀川貴司(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫)「三体詩の版本について」

〈以 上〉